



株式会社マコメ研究所

環境活動レポート

対象期間 2023年度(2022年12月～2023年11月)

目次

1. 事業の規模	-1-
2. 環境への負荷の状況(取りまとめ表)	-2-
3. 指標毎の取りまとめ	-3-
3-① 温室効果ガス排出量	-3-
3-② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	-4-
3-③ 総排水量及び水使用量	-5-
3-③-1 総排水量	-5-
3-③-2 水使用量	-5-
3-④ P R T R化学物質使用量	-6-
3-⑤ エネルギー使用量(MJ)	-7-
4. 代表者による全体の評価と見直しの結果	-8-

1. 事業の規模

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	1,082	1,194	1,142
従業員	人	93	94	96
床面積	m2	3,521.5	3,521.5	3,521.5

環境管理責任者 連絡先 EMS推進委員会
〒399-4601
長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪10800-11
TEL: 0265-79-8154 FAX: 0265-79-8519

2. 環境への負荷の状況(取りまとめ表)

・本社、伊那工場、南原工場

環境への負荷		単位	2021年度	2022年度	2023年度
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	104,622.9	114,865.2	116,349.2
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物 最終処分量	t	2.644	2.845	3.030
	産業廃棄物 最終処分量	t	1.917	8.230	7.591
③-1 総排水量	下水道	m3	502.0	583.0	595.0
③-2 水使用量	上水	m3	502.0	583.0	595.0
④ 化学物質使用量	使用量	kg	125.0	85.0	85.0
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	1,902,897.3	2,167,672.3	2,010,362.8
	化石燃料	MJ	427,945.1	413,482.2	506,264.4

・全営業所(東京支社、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、九州出張所、東北出張所)

環境への負荷		単位	2021年度	2022年度	2022年度
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	33,648.9	39,018.1	45,680.5
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物 最終処分量	t	0.842	0.420	0.461
	産業廃棄物 最終処分量	t	0.461	0.061	0.080
③-1 総排水量	下水道	m3			
③-2 水使用量	上水	m3			
④ 化学物質使用量	使用量	kg			
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	455,374.8	497,230.9	510,530.9
	化石燃料	MJ	207,364.7	258,594.2	358,126.3

※共用施設のため③は算出していません。

※営業所では生産活動を行っていないため④は算出していません。

3. 指標毎の取りまとめ

3-① 温室効果ガス排出量(二酸化炭素排出量のみ掲載)

・ 本社、伊那工場、南原工場

		単位	消費量 (A)	排出量 (kg-CO2) (A×B) or (A×B×C)	割合 (%)	※排出係数 (B)	単位発熱量 (C)	
二酸化炭素排出量	エネルギー消費	購入電力	kWh	204513.0	78124.0	67.1%	0.3820 (kg-CO2/kWh)	
		灯油	L	10433.0	25998.3	22.3%	0.0679 (kg-CO2/MJ)	36.7 (MJ/l)
		A重油	L		0.0	0.0%	0.0693 (kg-CO2/MJ)	39.1 (MJ/l)
		都市ガス	Nm3		0.0	0.0%	0.0506 (kg-CO2/MJ)	41.1 (MJ/Nm3)
		液化天然ガス(LNG)	kg		0.0	0.0%	0.0494 (kg-CO2/MJ)	54.5 (MJ/kg)
		液化石油ガス(LPG)	kg	187.2	562.0	0.5%	0.0598 (kg-CO2/MJ)	50.2 (MJ/kg)
		ガソリン	L	3294.1	7647.8	6.6%	0.0671 (kg-CO2/MJ)	34.6 (MJ/l)
		軽油	L		0.0	0.0%	0.0687 (kg-CO2/MJ)	38.2 (MJ/l)
		化石燃料 小計			34208.1			
		エネルギー消費 計			112332.0			
	産廃	廃油	t	0.2	580.0	0.5%	2900 (kg-CO2/t)	
		廃プラスチック	t	1.3	3437.2	3.0%	2600 (kg-CO2/t)	
		廃棄物焼却処理 計			4017.2			
		二酸化炭素合計			116349.2	100.0%		

・ 全営業所(東京支社、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、九州出張所、東北出張所)

		単位	消費量 (A)	排出量 (kg-CO2) (A×B) or (A×B×C)	割合 (%)	※排出係数 (B)	単位発熱量 (C)	
二酸化炭素排出量	エネルギー消費	購入電力	kWh	51936.0	21605.5	47.3%	下記 (kg-CO2/kWh)	
		灯油	L		0.0	0.0%	0.0679 (kg-CO2/MJ)	36.7 (MJ/l)
		A重油	L		0.0	0.0%	0.0693 (kg-CO2/MJ)	39.1 (MJ/l)
		都市ガス	Nm3		0.0	0.0%	0.0506 (kg-CO2/MJ)	41.1 (MJ/Nm3)
		液化天然ガス(LNG)	kg		0.0	0.0%	0.0494 (kg-CO2/MJ)	54.5 (MJ/kg)
		液化石油ガス(LPG)	kg		0.0	0.0%	0.0598 (kg-CO2/MJ)	50.2 (MJ/kg)
		ガソリン	L	10350.5	24030.3	52.6%	0.0671 (kg-CO2/MJ)	34.6 (MJ/l)
		軽油	L		0.0	0.0%	0.0687 (kg-CO2/MJ)	38.2 (MJ/l)
		化石燃料 小計			24030.3			
		エネルギー消費 計			45635.8			
	産廃	廃油	t		0.0	0.0%	2900 (kg-CO2/t)	
		廃プラスチック	t	0.0172	44.7	0.1%	2600 (kg-CO2/t)	
		廃棄物焼却処理 計			44.7			
		二酸化炭素合計			45680.5	100.0%		

※電力の排出係数は環境省報道発表資料令和6年事業者別排出係数一覧の実排出係数を使用

本社、伊那工場、南原工場、名古屋営業所(中部電力) : 0.000382t-CO2/kWh

東京支社(東京電力) : 0.000451t-CO2/kWh

大阪営業所(関西電力) : 0.000309t-CO2/kWh

広島営業所(中国電力) : 0.000536t-CO2/kWh

九州出張所(九州電力) : 0.000382t-CO2/kWh

東北出張所(東北電力) : 0.000483t-CO2/kWh

3-② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量

・ 本社、伊那工場、南原工場

		最終処分量(t)	
廃棄物排出量	一般廃棄物	新聞紙	0.045
		段ボール	1.155
		可燃ごみ	0.892
		その他紙類	0.938
		一般廃棄物合計	3.030
	産業廃棄物	混合	1.669
		廃プラスチック	1.322
		粗大ゴミ	0.000
		蛍光管	0.000
		特別管理	0.200
	汚泥	4.400	
	産業廃棄物合計	7.591	

・ 全営業所（東京支社、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、九州出張所、東北出張所）

		最終処分量(t)	
廃棄物排出量	一般廃棄物	新聞紙	0.000
		段ボール	0.066
		その他紙類	0.073
		プラスチック	0.025
		その他可燃ごみ	0.297
		一般廃棄物合計	0.461
	産業廃棄物	金属くず	0.063
		廃プラスチック	0.017
		粗大ゴミ	0.000
		産業廃棄物合計	0.080

3-③ 総排水量及び水使用量

3-③-1 総排水量

・ 本社、伊那工場、南原工場

		単位	実績(m3)	割合(%)
総排水量 (m3)	公共用水域	河川	m3	
		湖沼	m3	
		海域	m3	
		各種水路	m3	
		公共用水域計	m3	
	下水道	m3	595	100%
総排水量合計			595	100%

3-③-2 水使用量

・ 本社、伊那工場、南原工場

		単位	実績(m3)	割合(%)
水使用量 (m3)	上水	m3	595	100%
	工業用水	m3		0%
	地下水	m3		0%
	海水、河川水	m3		0%
	雨水	m3		0%
	水使用量合計		m3	595

3-④ P R T R 化学物質使用量

・ 本社、伊那工場、南原工場

化学物質名	政令番号	CAS No.	使用量 kg	保管量 kg
アクリル酸	4	79-10-7	0.00	0.00
2-アミノエタノール	20	141-43-5	0.08	0.15
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	30	121-65-3, 140-60-3	0.15	0.12
アンチモン及びその化合物	31	1309-64-4他	0.12	0.06
ビスフェノールA	37	80-05-7	0.01	0.00
エチルベンゼン	53	100-41-4	0.03	0.22
2,3-エポキシプロピルフェニルエーテル	69	122-60-1	0.00	0.00
キシレン	80	1330-20-7	0.03	0.25
銀	82	7440-22-4	0.36	1.30
クレゾール	86	1319-77-3	0.00	0.00
酢酸ビニル	134	108-05-4	0.00	0.00
1,3-ジオキソラン	151	646-06-0	0.47	0.19
N,N-ジメチルテトラミン=N-オキシド	224	1643-20-5	0.07	0.12
有機スズ化合物	239	企業秘密	0.01	0.00
有機スズ化合物	274	企業秘密	0.00	0.00
テトラエチルアンタミン	276	112-57-2	0.18	0.50
トリエチルテトラミン	278	112-24-3	0.82	0.08
1,3,5-トリメチルベンゼン	297	108-67-8	0.00	0.00
トルエン	300	108-88-3	0.20	1.16
鉛	304	7439-92-1	0.02	2.70
ハナジアルセチルアセトネート	321	3153-26-2	0.02	0.01
フェニレンジアミン	348	108-45-2	0.37	0.51
フェノール	349	108-95-2	0.04	0.03
フタル酸ジ-n-ノルマルブチル	354	84-74-2	0.00	0.02
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	355	117-81-7	0.04	0.25
2,3-エポキシプロピルブチルエーテル	359	2426-08-6	3.16	0.57
ヘキサン(n-ヘキサン)	392	110-54-3	0.57	0.28
ホリ(オキシエチレン)ニアルキルエーテル	407	2136-70-1他60	0.07	0.01
ホルムアルデヒド	411	特定第1種 50-00-0	0.00	0.00
メタクリル酸	415	79-41-4	0.22	0.10
1-メチル-1-フェニルエチルヒドロペルオキシド	440	80-15-9	0.00	0.01
メチレンビス(4,1シクロヘキレン)ジイソシアネート	447	5124-30-1	0.89	0.00
メチレンビス(4,1-フェニレン)ジイソシアネート	448	101-68-8	91.23	47.59
リン酸トリトリル	460	1330-78-5	22.17	13.42
リン酸トリフェニル	461	115-86-6	5.30	1.40
ジエチレングリコールモノメチルエーテル	627	111-77-3	0.02	0.02
シクロヘキサン	629	110-82-7	0.05	0.00

集計期間：2023年4月～2024年3月

3-⑤ エネルギー使用量 (MJ)

・ 本社、伊那工場、南原工場

	単位	使用量	エネルギー量	割合	単位発熱量			
		消費量	(MJ)		(%)	(B)		
		(A)	(A×B)					
総エネルギー投入量	購入電力(新エネルギー除く)	kWh	204513	2010363	79.9%	9.83	(MJ/kWh)	
	化石燃料	灯油	L	10433	382891	15.2%	36.7	(MJ/l)
		A重油	L		0	0.0%	39.1	(MJ/l)
		都市ガス	Nm3		0	0.0%	41.1	(MJ/Nm3)
		液化天然ガス(LNG)	kg		0	0.0%	54.5	(MJ/kg)
		液化石油ガス(LPG)	kg	187	9397	0.4%	50.2	(MJ/kg)
		ガソリン	L	3294	113976	4.5%	34.6	(MJ/l)
		軽油	L		0	0.0%	38.2	(MJ/l)
		化石燃料 計	MJ		506264	20.1%		
	新エネルギー	太陽光	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		太陽熱	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		風力	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		水力	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		燃料電池	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		廃棄物	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		新エネルギー 計	MJ		0	0.0%		
	その他	熱供給(蒸気)	MJ		0	0.0%		
その他 計		MJ		0	0.0%			
エネルギー使用量合計	MJ		2516627	100.0%				

・ 全営業所 (東京支社、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、九州出張所、東北出張所)

	単位	使用量	エネルギー量	割合	単位発熱量			
		消費量	(MJ)		(%)	(B)		
		(A)	(A×B)					
総エネルギー投入量	購入電力(新エネルギー除く)	kWh	51936	510531	58.8	9.83	(MJ/kWh)	
	化石燃料	灯油	L		0	0.0	36.7	(MJ/l)
		A重油	L		0	0.0	39.1	(MJ/l)
		都市ガス	Nm3		0	0.0	41.1	(MJ/Nm3)
		液化天然ガス(LNG)	kg		0	0.0	54.5	(MJ/kg)
		液化石油ガス(LPG)	kg		0	0.0	50.2	(MJ/kg)
		ガソリン	L	10350	358126	41.2	34.6	(MJ/l)
		軽油	L		0	0.0	38.2	(MJ/l)
		化石燃料 計	MJ		358126	41.2		
	新エネルギー	太陽光	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		太陽熱	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		風力	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		水力	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		燃料電池	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		廃棄物	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		新エネルギー 計	MJ		0	0.0		
	その他	熱供給(蒸気)	MJ		0	0.0		
その他 計		MJ		0	0.0			
エネルギー使用量合計	MJ		868657	100.0				

4. 代表者による全体の評価と見直しの結果

2023年度の業績は、新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが5類に移行し、経済活動も徐々に上向いた事から、良好な成績を残す事が出来ました。

そんな中、本年度の環境目標を各数値が前年度比で大幅増加させない事と定め活動をスタートさせました。

幸い、企業活動は前期に比べ活発化しましたが、それに合わせる形で温室効果ガス排出量、廃棄物排出量、エネルギー使用量など主要項目で前年度比を上回ってしまいました。

目標を果たす事が出来なかった事は大変遺憾ではありますが、企業活動を続けながらの結果であり止むを得ないとも感じております。

2024年度は景気低迷の煽りを受け、事業活動も厳しい状況になる事が予想されます。

企業活動の停滞が環境面(温室効果ガス、産業廃棄物、排水量、エネルギー使用量等)にどう影響するか分かりませんが、前年を上回る事はないと予想出来ます。

今年度も環境面の各数値が増加しないよう、小さな取り組みにも積極的に働き掛けを行って参ります。

社内活動としましては、勉強会や非常時訓練など、環境に対する働き掛けも定着してきました。

今後もこれらの活動に加え、様々な工夫を提案していくと共に、経営課題とチャンス进行を明確化し、環境活動等へフィードバックして参ります。

2024年度も環境に関する取り組みを、EMS推進委員会を中心となり進めて参ります。

株式会社 マコメ研究所 代表取締役社長
沖村 文彦